

歴史と自然の共存する村

千早赤阪村は、中世、南北朝時代に楠木正成が千早城等の多くの山城を築き、幕府軍と相交えた地として広く知られています。

また、金剛生駒紀泉国定公園内に位置する金剛山、日本の棚田百選に選定される「下赤阪の棚田」などがあり、まさに歴史と自然が共存する村です。

ここでは、その魅力の一部を紹介します。

みなさん、一度、散策に訪れてみてはいかがでしょうか？

□楠公誕生地

楠木正成が誕生したという伝承の残る地です。付近には、正成が産湯に使ったと伝えられている「楠公産湯の井戸」や、正成にまつわる資料などを展示する郷土資料館があります。

また、「道の駅」も併設されています。

※平成21年10月20日から12月6日までの期間、郷土資料館では企画展「さまざまな楠木正成」を開催しています。



□赤坂城跡と下赤阪の棚田

元弘元年（1331）に楠木正成が築城した山城です。ここには、眺望学習広場を設けており、『太平記』にも登場する美しい棚田を眺めることができます。



□建水分神社

『日本三代実録』にもその名が登場する古社で、天御中主命を中心に水の神様をお祀りしています。なお、本殿は重要文化財に指定されています。



□御旅所北古墳・御旅所古墳

御旅所北古墳は、6世紀末から7世紀初頭につくられた円墳で、2基の家型石棺が検出されました。

現地では、このうち1基の石棺を見学することができます。

また、この地は建水分神社の秋の祭礼時に地車（だんじり）が集結する場所でもあります。



● お問い合わせ先 ●

千早赤阪村秘書政策課

TEL : 0721-72-0081

FAX : 0721-72-1880

E-mail : kikaku-1@chihayaakasaka.osaka.jp